

招かれなかったお誕生会

江口いよ

孫は小学4年生 かわいい顔した女の子
仲良しA子ちゃんのお誕生会

小さな胸にあれこれと 選んで買ったプレゼント
早く来てねと友の呼ぶ 電話の声を待ちました

夕陽が山に沈んでも 電話の声はありません

孫はぼつりと言いました

きつと近所のお友達 おおぜい遊びに行ったので

お茶わん足りずにAちゃんは 困って呼んでくれないかも

2、3日たった校庭で

A子ちゃん家での誕生会 楽しかったと友人に

聞かされた孫はA子ちゃんに

どうして呼んでくれないの 私はとつても待ったのよ

A子ちゃんとても悲しい顔をして

私は誰より千恵ちゃんを 呼びたく呼びたく思ったの

けれども私の母ちゃんは 呼んではならぬと言ったのよ

それで呼ばずにごめんねと あやまる友のその顔を

見つめた孫の心には どんな思いがあったでしょう

私は孫に言いました

お誕生会に招かれず さびしかっただろうねと

孫はあのねおばあちゃん

A子ちゃんとても優しいの 私の大事なお友達

A子ちゃん悪くはないのよ お母さんが悪いのよ

大人ってみんな我ままよ

寂しく言った孫の瞳に 光る涙がありました

どんなするどい刃物より 私の胸を刺しました